

2010年7月27日

広島県知事 湯崎 英彦 様

日本共産党広島県議会議員 辻 恒雄
日本共産党広島市議会議員団長 中森辰一

大雨災害に対する復旧工事の早期実施と再発防止対策の申し入れ

7月10日からの大雨により、死亡者が出るなど県内各地で深刻な被害が発生しました。亡くなられた方のご冥福を祈るとともに被災された方には謹んでお見舞い申し上げます。

広島県に於かれても、行方不明者の捜索や復旧作業に昼夜を問わずに取り組んでおられることと思います。

庄原市などでは甚大な被害が発生し、一日も早い復旧が望まれるところですが、広島市内でも河川の氾濫や排水ポンプの能力不足から、床上浸水を繰り返している事例があるなど、災害防止の課題が明らかになっています。

改めて、水害発生の原因究明とともに、復旧工事とあわせて再発防止に向けた抜本的な取り組みをされるよう、以下の7項目について要望します。

安佐北区

- ①矢口川から太田川への排水ポンプの能力を大きくしてください。
- ②鈴張川の堤防（鈴張2719山本宅付近）のかさ上げをしてください。
- ③小河内川（小河内1378-4猪田宅付近）の家側の土手を県道側と同じ高さにしてください。
- ④同県道（バス道）の橋付近の護岸の下部がえぐられており早急に修復してください。

安佐南区

- ⑤長東地域の浸水対策をしてください。
新安川の排水ポンプの能力を大きくするとともに同時に、護岸の低いところをかさ上げをしてください。

東区

- ⑥大谷川（広島市東区馬木）の護岸整備を早急に着工してください。
現在、県と市で進められている護岸整備は広島高速道路公社、県、市、地元との協議に時間を要し、工事着工の見通しが立っていません。台風・大雨のたびに周辺住民は大変不安な状況におかれてきました。これ以上遅らせないために、早急に工事着工のスケジュールを明らかにして地元へ周知してください。

- ⑦被災者生活支援給付金制度の対象に床上浸水も加えてください。